

1 単元構想

本単元で身に付けたい力

比べて読み、似ているところや違うところを見つけてわかったことや考えたことを伝える力

言語活動とその特徴

教材の特質

本単元では、それぞれの動物の子どもの守り方を比べ、感じたことや考えたことをお家の人にお手紙で伝えるという言語活動を設定している。教材文で読み取ったことをもとに並行読書で他の動物についても調べて読み、自分たちもお家の人に育ててもらっているということに関連させて学習を進めていきたい。

本教材は、「問い」「答え」「まとめ」の構成を持ち、二つの動物の特徴や子どもの守り方の違いについて述べられている文章である。動物の生態への興味・関心を引き出しながら、「比べて考える」ことに適した題材である。教材文を読み、いろいろな動物を調べ比較することができる教材である。

児童の実態

指導観

児童はこれまでに、「さとうとしお」「どうやってみまもるのかな」「いろいろなふね」の説明文を学習してきた。市販のテストや EX テストの説明文では平均点が 90 点以上になっているが、はじめて読む文章での EX テストはやや低い傾向になっている。語彙力の低さや文章を大まかにとらえること、キーワードを見つけることに個人差が見られる。児童はこれまでに道徳の時間に家族に向けてお手紙を書いたり、生活科の時間に保育所の年長さんにお手紙を書いたりする活動を行っている。

1 年生の 2 学期に「いろいろなふね」で「はじめ」「中」「終わり」の構成を学習した。また、比べて読むことについては「さとうとしお」、動物の生態では「どうやってみまもるのかな」で学習をしてきており、本単元とつながりがある。本単元では「比べて考えることの良さ」をしっかりと意識付け、比べる際には「表」を用いて整理するとわかりやすくなるということにも気づかせていきたい。またそれぞれの動物の「何を比べているのか」をはっきりさせるためにも、比べる観点に沿って情報を整理することができるようにしていく。

2 単元の目標及び単元の評価規準

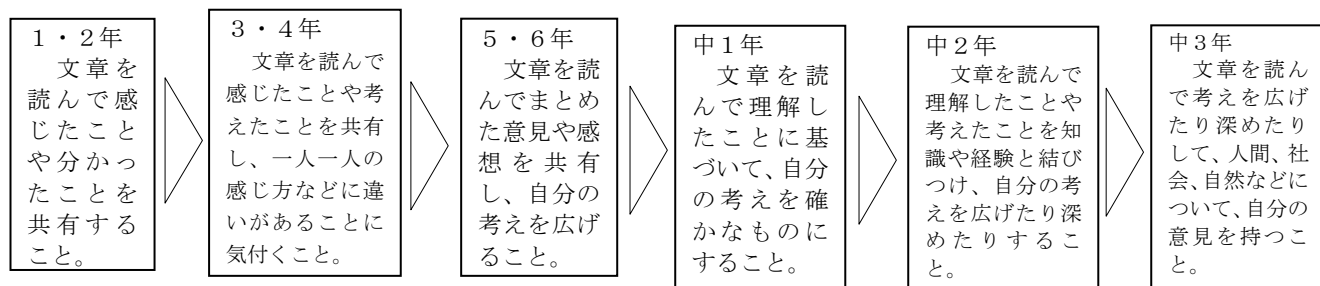
(1) 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
共通・相違・事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 (2) ア	「読むこと」において、文章を読んでわかったことや考えたことを共有することができる。 C (1) カ	これまでの学習や経験で気づいたことやできるようになったことを生かして見通しを持ち、積極的に文章を読んで分かったことを共有し伝え合うことができる。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
共通・相違・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 (2) ア	「読むこと」において、文章を読んでわかったことや考えたことを共有している。 C (1) カ	これまでの学習や経験で気づいたことやできるようになったことを生かして見通しを持ち、積極的に文章を読んで分かったことを共有し伝え合おうとしている。

3 資質・能力の系統性

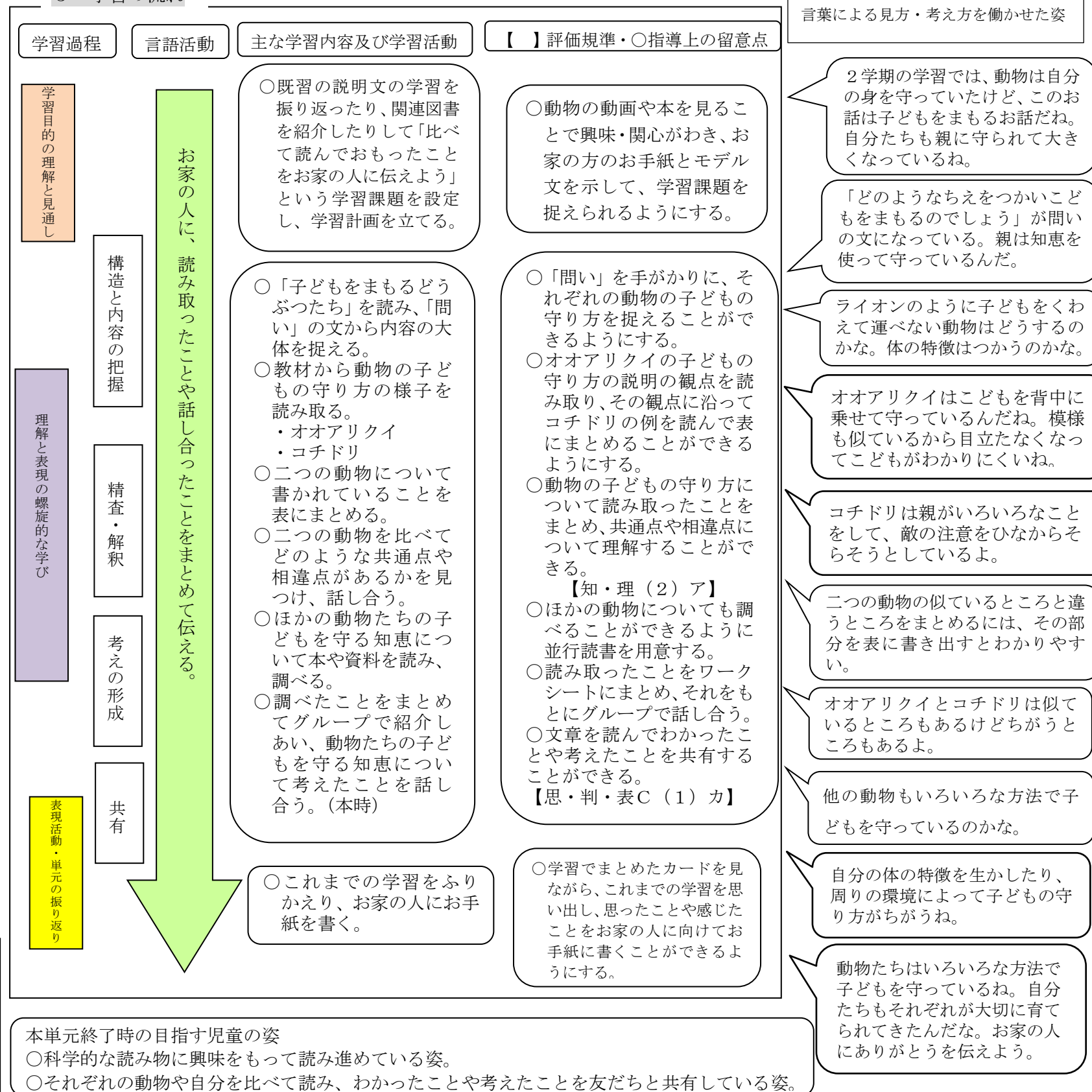


4 研究主題に迫る手立て

研究主題：主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりー各教科等の見方・考え方を働かせてー

- 単元の学習の途中で自分を育ててくれているお家の人に学習カードを読んでもらい、感想をカードに書いてもらうことで自身と関連させて考えることができる。
- 自分の感想を友だちと交流し共有することで、学習したことを深めることができる。

5 学習の流れ



本単元終了時の目指す児童の姿

- 科学的な読み物に興味をもって読み進めている姿。
- それぞれの動物や自分を比べて読み、わかったことや考えたことを友だちと共有している姿。

(1) 目標

自分が調べた動物の子どもの守り方について友だちと話し合い、感じたことを話し合うことができる。

(2) 板書計画

一月二十五日  
子どもをまもるどうぶつたち

めあて  
ともだちがしらべたどうぶつは、どのようにして子どもをまもっているのかな。  
にているところとちがうところに目を付けてはなしあおう。

◎こうりゆうのしかた  
①じぶんのどうぶつのしょうかい  
②ともだちのどうぶつのしょうかい  
③しつもんやかんそう  
④こうりゆうのかんそう

◎こうりゆうをしてきづいたこと  
・子どもといっしょにこうどうするおやや子どもとはなれるおやもいる。  
・ライオンみたいに子どもをくわえてはこぶどうぶつがいる。  
・どのどうぶつもちえをつかって子どもをまもっている。

ちがうところ  
にているところ  
くらべよう

ふりかえり  
ともだちとはなしあってかんがえたことやわかったことをかこう。

○本時で働かせたい言葉による見方・考え方

それぞれの動物の子どもの守り方について似ているところや違うところを見つけて伝え合っている姿。

○主体的・対話的な学びを生み出すため工夫

- ・お家の人からお手紙を書いてもらい、自分も親に守られて大きくなってきたことを実感し、動物の子どもの守り方についても関心を持って読むことができる。
- ・関連図書からいろいろな動物について調べることができるようにする。

言語活動モデル

(3) 展開 学習内容及び学習活動(番号) 主な発問(○) 予想される児童の反応(・) 指導上の留意点(●) 評価規準及び評価方法(☆)

導入	展開	まとめ
<p>1. 前時までの学習を思い出し、今日の学習課題に見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本を読んでいろいろな動物のことを読んでみたよ。</li> <li>・お気に入りの動物について調べたことをカードにまとめました。</li> <li>・友だちが調べた動物について教えてほしいな。</li> <li>・自分が調べた動物とどんなところが似ているかな。違うところはあるのかな。</li> <li>・どうしてその動物を選んでカードにまとめたのかな。</li> <li>・私の選んだ動物のこと知っている人はいるかな。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて ともだちがしらべたどうぶつは、どのようにして子どもをまもっているのかな。 にているところとちがうところに目を付けてはなしあおう。</p> </div>	<p>2. 交流の仕方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●板書やカードのモデルを見ながら交流の仕方を確認できるようにする。</li> </ul> <p>3. 友だちと共有し、感じたことなど話し合う</p> <p>○カードをもとに話し合いを始めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●グループで話し合いを行い、似ているところやちがうところなど見つけたところに印を付けられるようにする。</li> <li>●友だちの調べたことについて感想を持てるようにする。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・お父さんペンギンが毛布を掛けて温めているところが温かそうだったよ。</li> <li>・私が調べたラッコの赤ちゃんも冷たい海の水につからないようにお母さんが自分の体に乗せているよ。</li> <li>・寒さやてきから子どもを守っているんだね。</li> <li>・わには手や足よりも大きな口を使って赤ちゃんを守っているんだね。</li> <li>・体の特徴を生かしているね。</li> </ul> </li> </ul> <p>○友だちと話をしてどんなことに気が付きましたか。カードに似ていたところや違うところをかきましよう。</p> <p>4. 話し合ったことを全体で交流する。</p> <p>○話し合いをして似ていたところやおなじところ、気づいたことを発表しましょう。</p>	<p>5. 学習を振り返り、感想をかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの調べた動物のカードを読んで、自分が知らなかったことがあった。</li> <li>・それぞれの動物がいろいろなほうほうで子どもを守っていることが話し合っていてわかりました。</li> <li>・まわりの友だちも好きな動物や気になっている動物の守り方について調べていました。</li> </ul> <p>☆文章を読んでわかったことや考えたことを共有することができる</p> <p style="text-align: right;">【思・判・表 C (1) カ】</p>